

(7) 清田区

概況

清田区は市の南東部に位置し、北は東北通で白石区と厚別区、西は吉田川、羊ヶ丘、山部川を境界に豊平区、南西部は南区、南は丘陵地で恵庭市、東は大曲川で北広島市と接しています。区域のおよそ3分の2は、緑豊かな丘陵地と山林に覆われ、南北に縦断するあしりべつ川（厚別川）、山部川などの河川や白旗山を有する市最大の市有林があり、身近に雄大な自然を感じることができます。

自然を生かした街並みが形成されており、比較的若い世代が多く居住しています。

区内には梅の名所として知られる「平岡公園」、国際スキー連盟公認の距離競技場とナイター設備を完備した2面の天然芝サッカーグラウンドを有し、2017 冬季アジア札幌大会の会場の一つとなった「白旗山競技場」、市民の憩いの森として親しまれている「札幌ふれあいの森」など豊かな自然と調和した全市的な公園、施設が整備されています。

平成30年の北海道胆振東部地震において、大きな被害を受けた地区もあり、復旧に向けた取組が進められています。

歴史

明治6年に月寒開拓団の一員であった長岡重治が“あしりべつ”（清田区の中心部）へ居住したのが最初の入植といわれています。その後個別の開拓という状態が続き、明治20年代に本格的な開拓が始まりました。昭和30年頃までは水田開発が進み、厚別川の低地帯は「清田」の地名の由来のように美しく清らかな水田が広がり、小高い丘は一面がリンゴ畑の農村地帯でした。

昭和36年の豊平町と札幌市の合併を契機に次々と大型団地が造成され、市街地も拡大していきました。

その後も、東部地域開発や大型民間開発が進められ、加速度的に人口が増加したことから、平成9年11月に豊平区から分区して「清田区」が誕生しました。

アクションプラン2015におけるまちづくりの取組

地元農産物や「きよたスイーツ」といった「食」と、地域活動が盛んな「音楽」の魅力を発信する「きよたマルシェ&きよフェス」では、地元企業・団体の参加が40以上に広がっているほか、コンテストや講習会、体験講座を通じた花とみどりのネットワークづくりにより、花サポーターの登録が200名以上に増加するなど、地域で活動する団体が構成する「きよたまちづくり区民会議」をはじめ、地域と一体となったまちづくりを進めてきました。

また、地域主体の活動を支援することで、「地区ウォーキング」への参加が年間約3,000人に増えているほか、認知症に対する理解を深める講座・交流会の開催が区内5地区で年間10回を超えるなど、区民の健康づくりや超高齢社会⁴の対応に取り組んできました。

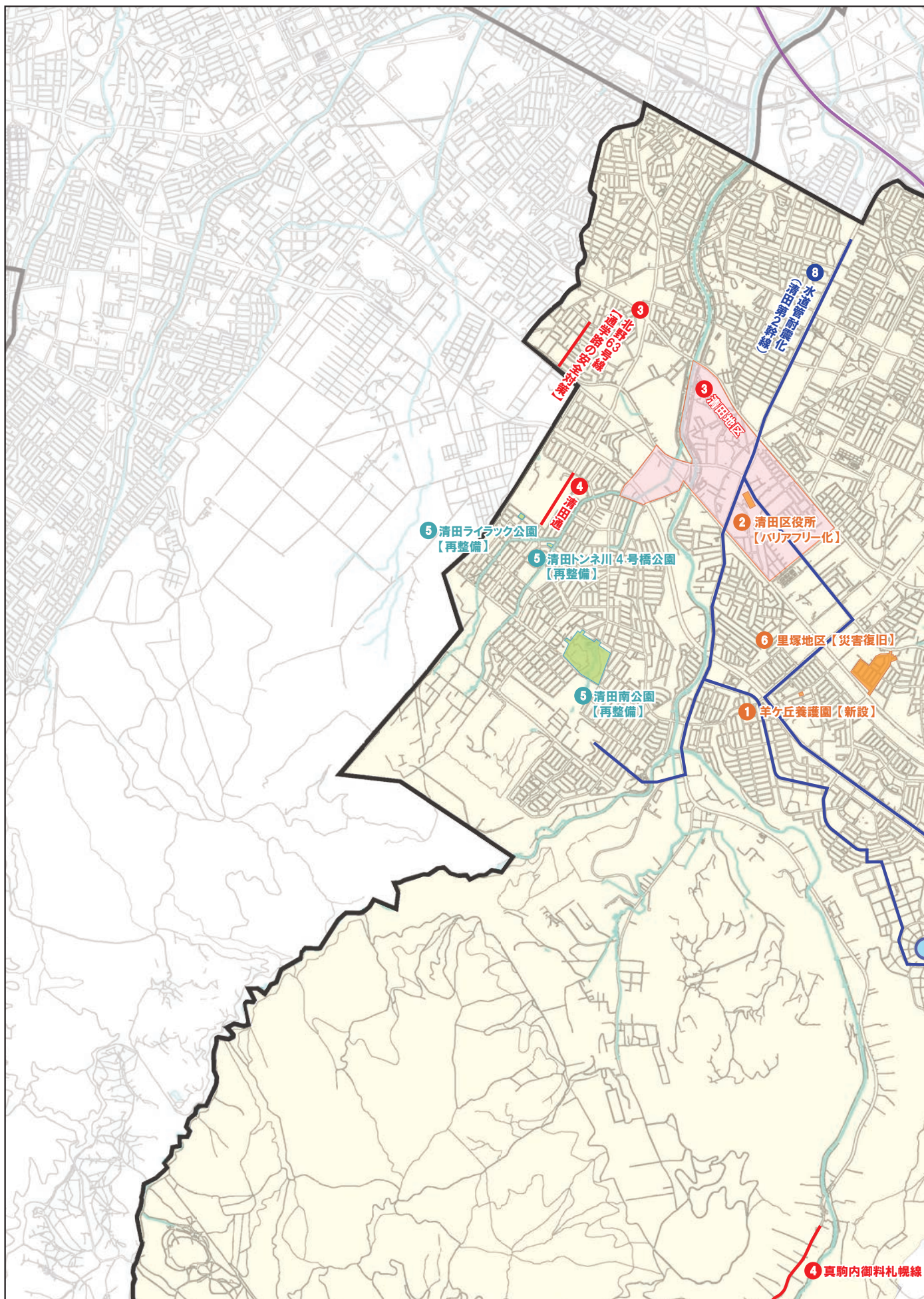
今後は、地域特性や課題を踏まえ、区民の満足度を向上させるとともに、交流人口を増やすよう積極的に取り組み、「多くの方が行き交い、安心して住み続けたいまち」を目指していきます。

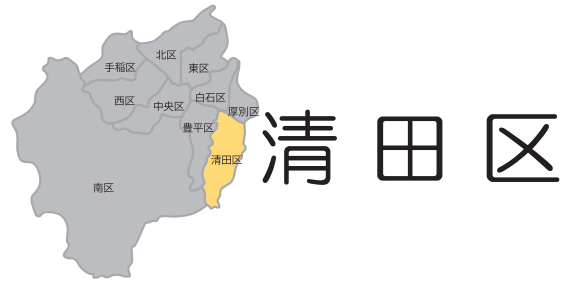
取組目標・主な取組

目標1：区内外への情報発信	
地域団体や企業と連携して、地域の魅力を磨き、認知度を高めます。	
「きよたスイーツ」の推進(★)	販路拡大とともに、「地域の顔」として広く浸透させるため、地域の菓子店と協力して、首都圏や区外など、様々な場面に進出します。
自然体験の推進(★)	区のシンボルでもある「白旗山」や「あしりべつ川」、「平岡梅林」のほか、花やみどりなど地域の「自然」に触れ合う場づくりを進めます。
環境にやさしいまちづくり(★)	区民や企業とともに、清掃・美化活動やホテル観賞会、アダプトプログラムなどに取り組みます。
目標2：にぎわいづくりの拡大	
区役所周辺地域をはじめ、区内ににぎわいを創出し、人の流れを取り込みます。	
地域交流拠点 ⁷ におけるにぎわい創出事業(P.67)	「きよたマルシェ」や「きよフェス」の取組を定着・発展させ、地域交流拠点である区役所周辺からにぎわいを生み、地域の魅力を広く発信する仕組みを構築することで、交流人口の増加を目指すとともに、定住人口の増加を図ります。
音楽を通じたまちづくり(★)	清田区ゆかりのアーティストやPMFアカデミー生などによるコンサートを、区内の様々な場所で開催し、音楽に触れる機会を創出します。
目標3：多様な交流の促進	
地域活動を支援し、まちづくり参加にもつなげます。	
世代間交流の促進(★)	地域、行政、学校が連携し、講座や実習といった高齢者の学びの場を通じて、児童との交流を深めます。
まちづくりを体験する機会の創出(★)	企業や団体と連携して、子どもが地域を学ぶほか、実践者と交流しながら、実際に仕事を体験する機会をつくり出します。
スポーツを通じたまちづくり(★)	区内のスポーツ団体と連携し、白旗山など地域資源を生かして、区民がスポーツと親しむ行事を企画・実践します。
目標4：安心して生活できる環境づくり	
防災・防犯活動の充実に加え、子育て世帯や高齢者の状況に合わせた取組を進めます。	
地域防災力の向上支援(★)	震災の教訓を踏まえた、実態に即した防災訓練を実施するほか、地域が実施する研修会などに積極的に出向いて啓発します。
子育ての相談がしやすい環境づくり※	拡張した「子育てインフォメーション」を有効活用し、必要な情報を伝え、安心して相談できる環境づくりを進めます。
清田区健康アップ推進事業(P.51)	気軽に運動を始められる環境整備、特に歩くことを主眼とした健康づくりやバランスの良い食習慣の普及を進め、運動、栄養の両面から健康づくりに取り組む区民を増やし、健康寿命の延伸につなげます。
区役所を拠点とした生活習慣の改善による介護予防事業(P.51)	区民の健康づくりの裾野拡大のため、区役所内健康測定スペースを整備するとともに、高性能体組成計測定と保健師の個別相談を定期開催し、毎日体重測定を行う健活3ヶ月チャレンジへの参加から行動変容につながる働きかけを行います。

注) 事業名内の(★)は、「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」(P.66)による実施

※ 「地域子育て支援事業」(P.56)による実施





清田区

事業一覧

No.	事業名	ページ
①	社会的養護体制整備事業	61
②	区役所等バリアフリー化事業	62
③	安全・安心な道路環境の整備事業	63
④	骨格道路網等整備事業	115
⑤	地域と創る公園機能再編・再整備事業	117
⑥	北海道胆振東部地震市街地復旧推進事業	121
⑦	緊急遮断弁整備事業	121
⑧	配水幹線連続耐震化事業	121



地図の凡例

- 道路（施設）整備
- 歩道バリアフリー整備
- 河川整備
- 下水道（施設）整備
- 公園整備
- 水道（施設）整備
- 施設整備

※点線は整備に関する検討事業です
検討の結果整備箇所は変更する可能性があります

地図の見方

